
**スプリングバック方式(単動式)と
両ベローズ方式(複動式)の違い**

株式会社佐野機械

〒419-0202

静岡県富士市久沢2-2-3

TEL 0545-71-3751

FAX 0545-71-0773

単動式

片側がスプリングでエア圧力を変化させバランスを取り位置決めを行う方式です。

片側への移動をスプリングに任せてしまうため検出器からの指令とズレが発生する恐れがあります。

エアの圧力を上げすぎた場合、アクチュエーター内に残圧が残ってしまいスプリングの力だけでは戻りきらなくなる場合があります。

複動式

両側のベローズでエア圧力を制御し位置決めを行う方式です。

両側のエアの圧力を1つの検出器により制御するため精度の高い位置決めを行うことが可能です。

検出器との追従性もいため低速・高速マシンの両方に対応できます。

センターオープンのWG型検出器を使うことでより追従性の高い精度が可能になります。



パームが手前に動いたときの様子

右側のベローズを排気することで拮抗が崩れ、メタル受けが右に移動

※センターオープンとは検出器のパームが

中立にあるとき両側のアクチュエーターに同圧のエアが供給されている状態から、

排気することでメタルを動かす制御方法です。

排気による制御は微少な範囲の用具の片寄りに対して反応できるため、アクチュエーター出力と用具の片寄りの量がほぼ比例した関係になります。